

ハイブリッド鋼管杭工法

(杭上部にコンクリートを部分充填した鋼管杭工法)

ハイブリッド鋼管杭工法は、施工後の鋼管杭の上部中空部にコンクリートを充填し、上部をコンクリート充填鋼管とした杭体を構築する工法です。コンクリートを充填する区間の鋼管内面にずれ止めを設けて、鋼管とコンクリートの一体化を図ります。本工法は、平成20年9月に(財)日本建築総合試験所の性能証明を取得しております。

特長

1. 高い経済性
上部鋼管を合成構造部材とすることで杭径の拡大が不要となり、また、鋼管板厚を低減することができます。
ずれ止めには溶接成型突起が適用できます。
2. 優れた耐震性能
地震力に対して大きな耐荷能力と変形性能を有する杭体構造です。
3. 確かな品質
コンクリートは気中施工するため、安定した品質が得られます。
4. 広い適用性
コンクリートを充填できれば、鋼管杭の施工方法による制約はありません。

仕様

鋼管杭 (コンクリート充填鋼管部)

杭径D：1600mm以下

板厚t：9mm以上

径厚比： $D/t \leq 80$

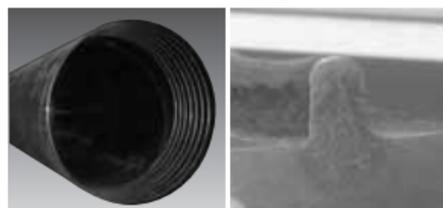
材料：JIS A 5525に定めるSKK400、SKK490またはNSPP540

コンクリート

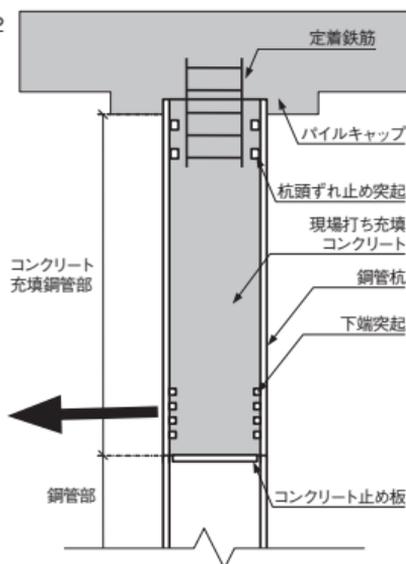
設計基準強度 F_c ：21 ~ 40N/mm²

充填長：3.5D以上

下端突起部



溶接成型突起



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。